

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【公表番号】特表2010-516237(P2010-516237A)

【公表日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2010-020

【出願番号】特願2009-545947(P2009-545947)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	7/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 0 7 K	16/42	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 K	35/12	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 N	5/00	1 0 2
C 0 7 K	14/47	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	7/00	
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	16/42	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	31/7088	

A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	45/06	
A 6 1 K	35/12	

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号2又は配列番号4の配列からなる変異ネトリン4タンパク質の、配列番号6、8、10、56、114、116、146、148、193、195、197、199、201及び203～209からなる群より選択されるフラグメント。

【請求項2】

請求項1のタンパク質をコードするヌクレオチド配列。

【請求項3】

配列番号2をコードする配列番号1のヌクレオチド配列又は配列番号4をコードする配列番号3のヌクレオチド配列の、配列番号5、7、9、55、113、115、145及び147からなる群より選択されるフラグメントを含むか又は該フラグメントからなることを特徴とする請求項2に記載のヌクレオチド配列。

【請求項4】

請求項2又は3に記載のヌクレオチド配列を含み、該挿入されているヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチドの宿主細胞における発現に必要なエレメントを含むことを特徴とする、プラスミド、コスミド、ファージ又はウイルスDNAのような組換えベクター。

【請求項5】

請求項4に記載の組換えベクターを用いて形質転換された、細菌、ウイルス、酵母、真菌細胞、植物細胞又は哺乳動物細胞から選択される宿主細胞。

【請求項6】

有効成分として、

請求項1に記載のタンパク質のフラグメント、又は

請求項 2 若しくは 3 に記載のヌクレオチド配列  
を含む医薬組成物。

【請求項 7】

請求項 1 で定義されるタンパク質、又は  
請求項 2 若しくは 3 に記載のヌクレオチド配列  
の、近視併発脈絡膜新生血管新生、角膜新生血管新生、移植片拒絶、緑内障、糖尿病性網膜症  
若しくは未熟児網膜症からなる群より選択される病変の予防又は治療用、或いは網膜新生血管新生の治療用の薬剤の製造のための使用。

【請求項 8】

請求項 1 に記載のタンパク質のフラグメント、又は  
請求項 2 若しくは 3 に記載のヌクレオチド配列  
の、周細胞又は平滑筋細胞の希薄化に関連するか又は該希薄化により引き起こされ、周細胞又は平滑筋細胞の増殖若しくは遊走の活性化を必要とする非腫瘍性病変であって、  
- 加齢に伴う黄斑変性、及び  
- 血管新生緑内障  
からなる群より選択される非腫瘍性病変の予防又は治療のための薬剤の製造のための使用。

【請求項 9】

- 配列番号 2 若しくは配列番号 4 の配列からなる変異ネトリン 4 タンパク質の、配列番号 6、8、10、56、114、116、146、148、193、195、197、199、201及び203～209からなる群より選択されるフラグメントと、  
AVASTIN (ベバシズマブ)、MACUGEN (ペガブタニブ)及びLUCENTIS (ラニビズマブ)、又はSUTENT (スニチニブ)若しくはNEXAVAR (ソラフェニブ)のようなその他の任意の抗VEGF薬、  
ニューロピリン-1に対するヒト化抗体、並びにDLL4に対するヒト化抗体、又はAM 386の  
ようなアンジオポエチン経路に干渉する薬からなる群より選択される血管新生抑制薬との組み合わせの、請求項 7 で定義される病変の予防又は治療用の薬剤の製造のための使用。

【請求項 10】

- 配列番号 2 若しくは配列番号 4 の配列からなる変異ネトリン 4 タンパク質の、配列番号 6、8、10、56、114、116、146、148、193、195、197、199、201及び203～209からなる群より選択されるフラグメントと、  
AVASTIN (ベバシズマブ)、MACUGEN (ペガブタニブ)及びLUCENTIS (ラニビズマブ)、又はSUTENT (スニチニブ)若しくはNEXAVAR (ソラフェニブ)のようなその他の任意の抗VEGF薬、  
ニューロピリン-1に対するヒト化抗体、並びにDLL4に対するヒト化抗体、又はAM 386の  
ようなアンジオポエチン経路に干渉する薬からなる群より選択される血管新生抑制薬とを含む、請求項 7 で定義される病変の治療又は予防に同時、別々又は逐次的に使用する組み合わせ製剤。

【請求項 11】

配列番号 2 若しくは配列番号 4 の配列からなる変異ネトリン 4 タンパク質の、配列番号 6、8、10、56、114、116、146、148、193、195、197、199、201及び203～209からなる群より選択されるフラグメントとともに、周細胞又は血管平滑筋細胞を含む医薬組成物。